

# 景気動向調査結果

－ 令和2年10月分 －

[ 調査概要 ]

1 調査対象期間 令和2年7月～令和2年9月

2 調査対象企業数 H27～

・卸・小売業	16
・建設業	16
・製造業	36 (うち伝統産業 20)
・宿泊・飲食業	16
・サービス業	16
計	100 社

3 調査方法 訪問による聞き取り調査

4 回答率 99% (99社)

飯田商工会議所 中小企業相談所

この調査は、平成27年度から調査対象企業数を増やし、5業種(卸・小売業、建設業、製造業、宿泊・飲食業、サービス業)における最近3ヶ月の状況(前年同期と比較した状況、3ヶ月後の予想など)について、訪問面接により聞き取り調査をしていますが、令和2年10月分は99社へ訪問した結果です。

◆ お問い合わせ先

飯田商工会議所 中小企業相談所

TEL:0265-24-1500

# 令和2年10月分(7~9月対象)の景気動向

## 1 総論

経済活動が徐々に再開されている状況ではありますが、売上については新型コロナウイルスの影響により前回調査に引き続き低い水準で推移しており、建設業で回復の動きがあるものの、製造業では更に減少しています。

コスト状況では、新型コロナウイルスの影響による残業や賞与の減少、一時帰休や出勤時間の調整による人件費の低下のほか、出張や展示会に関わる経費、接待交際費等の諸経費の低下が見受けられます。

経営課題は前回に引き続き「顧客の減少」が最も多く、次いで「受注・商品単価の低下」「採算悪化」と続き、回答も増加しています。建設業からは「人手不足・技術者不足」との声も多数あります。

新型コロナウイルスの影響では、7割近い事業所でしばらくは現在の状況が続くと見通しを立てており、「新分野への進出・販路開拓」「商品・サービスの提供方法の見直し」等、影響を強く受けている取引先からの脱却や、停滞商品に代わる主力商品への対応など、新たな生活様式へ対応したビジネスモデルの展開や事業継続に向けての取り組みも検討されており、経営環境の適応に向けて注視していく必要があります。

## 2 売上

全業種では、前回調査に引き続き落ち込んでおり、マイナス 71.7 となりました。多くの業種から新型コロナウイルス関連の売上減少コメントがあがっています。

業種別で見ると、建設業で回復の動きがあったものの、その他の業種では引き続き低い水準にあります。中でも製造業は前回調査から更に減少しマイナス 88.5 となっています。自動車・半導体関係で回復傾向の声があるものの、航空機関係は未だ見通しが立っていません。製造業に含まれる伝統産業を抽出した水引、食品産業では回答いただいた 20 件の全てが減少回答です。宿泊・飲食業については、3四半期連続して全ての事業所から減少回答があります。

全業種を通して、新型コロナウイルスの感染拡大を懸念した旅行、イベント、宴会等の自粛による経済活動の停滞が売上減少に影響しています。

### 【主なコメント】

- ・業務用売上減少。個人消費は若干の伸びー卸・小売
- ・コロナウイルスの影響によるイベント減少で利益減ー卸・小売
- ・コロナウイルスの影響により、宿泊・飲食、サービス業の悪化により売上減少ー卸・小売
- ・コロナウイルスの影響による在宅で個人からの細かい受注が増加ー建設
- ・移動制限が緩和したためか、仕事が動き始めたー建設
- ・住宅着工少なく、新たな契約が少ないー建設
- ・官庁からの発注量が減少傾向にあるー建設
- ・大型工事の受注があり増加ー建設
- ・卸先である小売店の動きが悪く減少ー製造

- ・米中対立で見込み悪化－製造
- ・7月頃から中国向けが忙しくなっている－製造
- ・結婚式用の需要が減少し、生産を止めている－製造
- ・需要は減少しており、元には戻らない。大量生産の時代が終わる－製造
- ・自動車関係は回復傾向、FA関係は足踏み－製造
- ・防護服の受注、1月で一旦終了の予定－製造
- ・半導体は回復、在庫調整に入っている－製造
- ・半導体関連も動きが鈍くなるとの情報あり－製造
- ・航空機関係は見通し立たず、一時帰休が続いている－製造
- ・依然として客先でも一時帰休が続いている－製造
- ・遅れていたものが今入ってきている－製造
- ・土産、贈答品関係が弱い－製造
- ・食品関連は順調で売上は伸びているが製造業が減産のため受注減－製造
- ・盆の帰省が減ったために需要が減退。年末帰省の影響も懸念－製造
- ・土産関係は回復傾向だがスーパーからの受注が悪化－製造
- ・GoToキャンペーンで来客は戻りつつあるがまだ完全な状態ではない－製造
- ・飲食店の衰退により納品が減少した－製造
- ・宴会がない。土日は忙しい－宿泊・飲食
- ・宴会が8割減少し、既に例年予約のある忘年会のキャンセルが入っている－宿泊・飲食
- ・コロナウイルスの影響により家族利用の割合増－宿泊・飲食
- ・コロナウイルスの影響で、夏の暑気払いの利用なし－宿泊・飲食
- ・テイクアウト開始により客単価は上昇－宿泊・飲食
- ・GoToキャンペーン若干の利用あり－宿泊・飲食
- ・7月がコロナや天候の関係で営業できず減少－サービス
- ・引き続き取引先の生産量の減少により売上減－サービス
- ・9月は過去最高の売上－サービス
- ・コロナ禍での旅行需要の蒸発－サービス
- ・コロナウイルスの影響で九州地方からの受注が今後悪化－サービス
- ・コロナウイルスの影響による企業の休業により売上減少－サービス

### 3 コスト状況

コストの状況については、新型コロナウイルスの影響が出始めてからは大きな変化はみられません。今回の調査で下請単価は回答いただいた全ての事業所から、昨年同期と変わらないとの回答がありました。

原材料では一部食材関係の上昇が寄せられています。人件費では最低賃金の上昇や働き方改革の実施、人員増員による上昇とは対照的に、残業や賞与の減少、一時帰休、人員減少による低下があります。その他経費については新型コロナウイルスの影響と思われる営業経費や出張費、接待交際費の低下が多数あげられています。

#### 【主なコメント】

##### (原材料)

- ・売上の減少に伴う低下－卸・小売、宿泊・飲食
- ・メーカーによる資材の値上げ－建設
- ・紙製品が上昇－製造
- ・国産大豆不作につき上昇－製造
- ・豚肉、鶏肉の仕入れ上昇－製造
- ・原材料確保困難により高騰－製造
- ・魚類の高騰－宿泊・飲食

#### (人件費)

- ・残業、賞与の減少による低下－卸・小売
- ・働き方改革の実施により上昇－卸・小売
- ・最低賃金の上昇に伴う上昇－卸・小売、製造
- ・人員増加による上昇－建設、宿泊・飲食、サービス
- ・新たに親族を役員にして上昇－建設
- ・突発的な災害対応による常用人工の増加－建設
- ・30名増員により上昇－建設
- ・残業手当の減少－製造
- ・新製品製造による上昇－製造
- ・一時帰休、残業減による低下－製造
- ・派遣社員の時間調整により低下－製造
- ・人員減少による低下－製造、サービス
- ・見直しを行い、昇給を行ったため上昇－製造
- ・出勤時間の減少による低下－宿泊・飲食
- ・従業員の解雇による低下－宿泊・飲食
- ・マスクや消毒等を各自で調達してもらうため、人件費に上乘せ－サービス
- ・残業増加により上昇－サービス

#### (その他経費)

- ・業務量の減少による低下－卸・小売
- ・外注の増加－卸・小売、建設
- ・運賃の低下－卸・小売
- ・出張、展示会費の減少－卸・小売
- ・店舗修繕、備品入替等により上昇－卸・小売
- ・受注増による人手が足りず外注増加－建設
- ・環境改善による経費増－建設
- ・引き続き物流費は上昇中－製造
- ・営業に出られず経費が低下－製造
- ・経費削減により低下－製造
- ・旅費、発送費の低下－製造
- ・製品保管料の上昇－製造
- ・広告を始めたため上昇－製造
- ・営業活動の停滞による低下－製造、宿泊・飲食
- ・出張旅費、接待交際費の低下－サービス
- ・出張が減り、WEB会議への切り替えにより旅費、日当の減少－サービス

## 4 資金繰り

前回調査と比較して、「最近苦しい」が減少し、「引続き苦しい」が増加しています。新型コロナウイルスの影響による売上減少が長期化し、資金繰りに苦慮する事業所が慢性化していることが推測されます。

#### 【主なコメント】

- ・低利のものを借換を希望－卸・小売
- ・店舗エアコン導入に伴う設備資金利用予定－卸・小売
- ・制度資金による借換により改善－建設
- ・自動車関係が忙しく、設備投資検討－製造
- ・日本政策金融公庫の利用を検討－製造
- ・年末の仕入資金に運転資金を予定－宿泊・飲食

## 5 経営課題

前回調査同様に「顧客の減少」が最多回答ですが、回答数は減少しています。新型コロナウイルスの影響による売上減少が各業種からあがっています。次いで「受注・商品単価の低下」「採算悪化」との回答が多く、前回と比較して回答数も増加しています。また、建設業から人手不足のコメントが多数あがっており、「人手不足・技術者不足」の回答 19 件のうち、10 件を建設業が占めています。

### 【主なコメント】

- ・新たな生活様式によるニーズや需要の減退を懸念－卸・小売
- ・コロナや人口減少など、マイナス要素が多い－卸・小売
- ・GDP の低下による需要減－卸・小売
- ・供給不足－卸・小売
- ・新型コロナウイルスの影響による売上減少－卸・小売、製造、サービス
- ・技術者の不足－建設、製造、サービス
- ・人手不足により人材派遣をお願いしている－建設
- ・大工のケガにより、人員不足－建設
- ・作業員の高齢化による人手不足－建設
- ・現場を仕切る人がいない－建設
- ・短納期の仕事が増加傾向にあり、対応するために人材が必要になるかもしれない－建設
- ・ミシン、裁断機等を補助金を活用して導入予定－製造
- ・文化や生活様式の変化による売上減少－製造
- ・競争・競合の激化により、安いものが売れる－製造
- ・受注はあるが特需なので本来の製品が動いて欲しい－製造
- ・旅行客の安定が欲しい、近隣への旅行が動いて欲しい－製造
- ・宴会の減少により原価率の上昇、収益性の悪化－宿泊・飲食

## 6 新型コロナウイルス感染症の影響について

今年の 4 月から 6 月の 3 ヶ月と比較した直近 3 ヶ月の売上の増減については、全業種では増加 44%、減少 30%と若干ではありますが回復傾向にあります。ただ、今後の見通しについて聞いた設問では、「回復傾向」と「更に悪化する」が同数で、現在の状況が続くと見込む事業所が 68%と多数を占めています。建設業からは、新型コロナウイルス対策のための公費投入による、公共工事予算の減少が懸念されています。

これから冬にかけての資金調達の必要性を聞いた設問では、21%の事業所で運転資金が必要との回答がありましたが、今後も新型コロナウイルスの影響による売上の減少が長期化するようであれば、以降の資金繰りへの影響が懸念されます。

新型コロナウイルスの影響や今後の生活様式の変化を見据えたビジネスモデルの展開や事業の継続に向けて取り組みたい事項については、「新分野への進出・販路開拓」が 31 件と最多回答で、新型コロナウイルスの影響を受けている販売先の比重を減らすための販路開拓や、停滞している主力商品の代替商品の製造に取り組む事業所からのコメントがありました。その取り組みにあたって相談している先としては、「顧問税理士・公認会計士」「金融機関」の回答が多数ですが、「特にない」も 31 件の回答がありました。

【主なコメント】

**(今年4～6月と比較した7～9月の売上増減)**

- ・5月の減少率が最も大きいー卸・小売
- ・季節性の要因により4～6月はもともと少ないー製造
- ・そもそも売上がないーサービス

**(新型コロナウイルス感染症の影響をふまえた貴社の今後の見通し)**

- ・公共工事の予算が来年度なくなるため不安ー建設
- ・展示会は活発で国内取引は盛んになる見通しー製造
- ・冠婚葬祭の減少がこのまま定着すれば業界はますます減退ー製造

**(ビジネスモデルの展開や事業継続に向けて優先的に取り組みたい事項)**

- ・SNSを活用したECサイトへの誘導。ネット販売の強化ー卸・小売
- ・新事業として代理店業を予定ー卸・小売
- ・インターネット販売の導入検討ー製造
- ・販売先の見直し。観光関連の比重を減らすー製造
- ・主力製品の受注が停滞している。マスク等の製造に新たに取り組んでいるー製造
- ・従業員間の仕事量の平準化、働き方改革ー製造
- ・加工工場を立ち上げたので販路開拓したいー製造
- ・BCPマニュアルにコロナへの対策を追加ー製造
- ・既存の商品を葬祭関係などへ提案ー製造
- ・休日調整しながら稼働、雇用調整助成金活用しながら様子を見ているー製造
- ・大皿をやめて、個別で料理提供しているー宿泊・飲食
- ・新たに許認可取得によるデザート販売を計画中ー宿泊・飲食
- ・使えるうちは雇用調整助成金を活用して雇用を維持したいーサービス

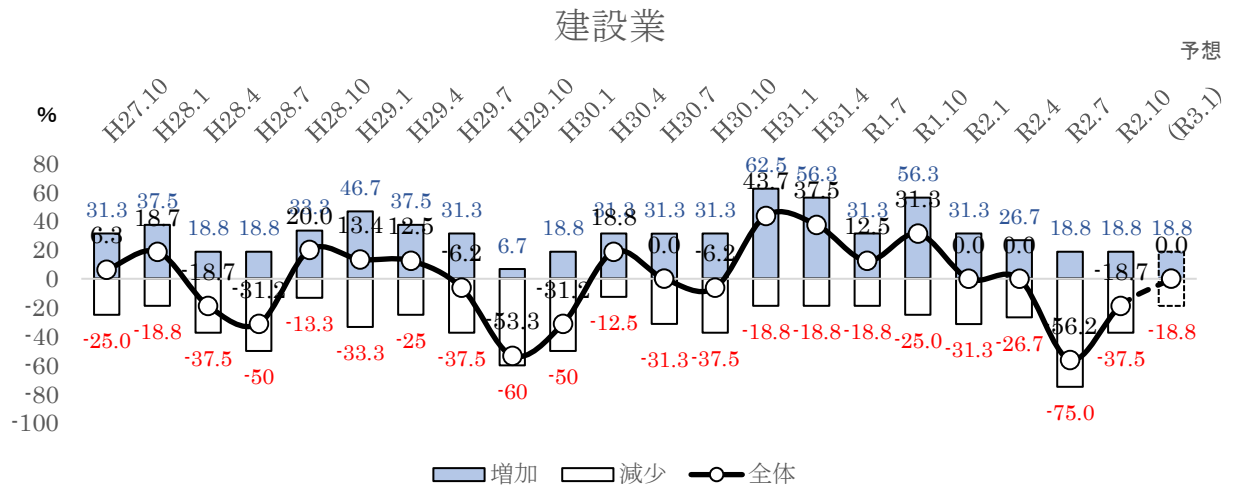
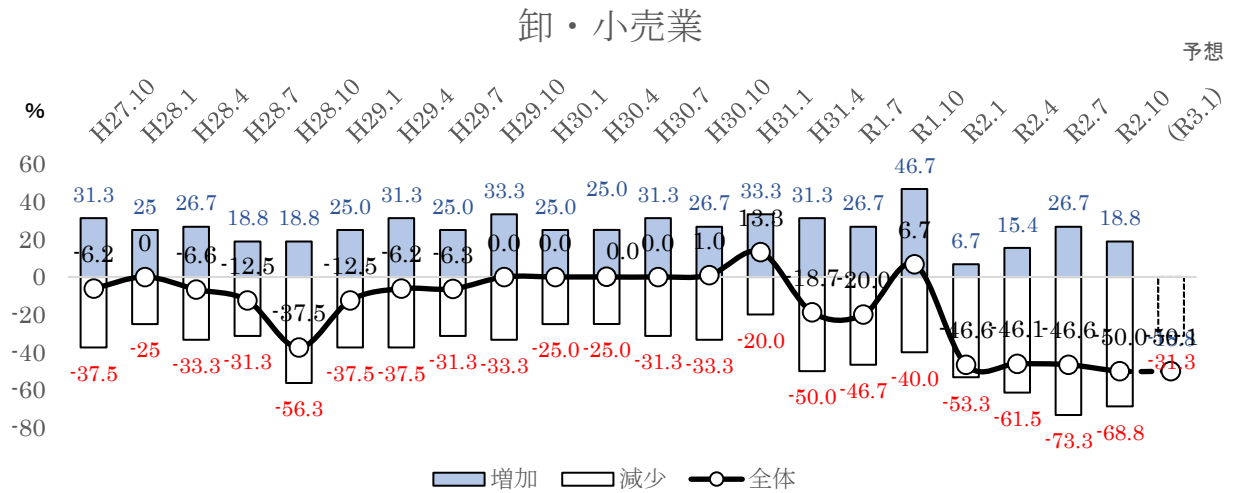
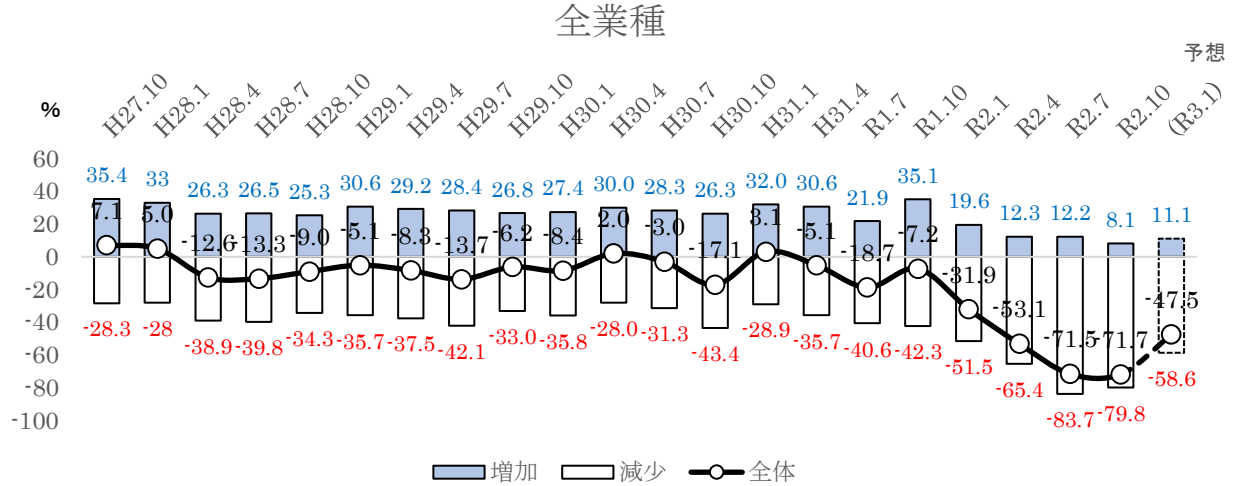
**(行政機関や商工会議所へ対して望む支援策、要望事項)**

- ・融資、低利のもので資金繰り対策をお願いしたいー卸・小売
- ・持続化給付金等の支援策を再度願いたいー卸・小売、建設、製造
- ・コロナの感染拡大防止と経済活動の活性化をバランス良く進めてほしいー卸・小売
- ・感染者が出たら公表しないと疑心暗鬼になってしまうー建設
- ・とにかく早いワクチンの開発を望むー建設
- ・製造業に対しての支援策を何か打ち出して欲しいー製造
- ・コロナ＝インフルエンザと同様の警戒で良いのではー製造
- ・従業員教育の実施ー製造
- ・固定資産税や家賃等の固定費の減税を引き続き望むー製造
- ・状況はリーマンショック時よりまだ良い。補助金等の対応が早いー製造
- ・雇用調整助成金を活用して雇用を何とか維持しているので期間を延長してほしいー製造
- ・PCR検査、雇用助成金の延長。一部納税の免除ー宿泊・飲食
- ・選挙のオンライン化ー宿泊・飲食
- ・新型コロナウイルスに関する支援策の情報提供ー宿泊・飲食、サービス
- ・GoTo イート等の飲食業向けの支援が行われているが、宴会をメインに営んでいる業態への恩恵はほとんどなく、新たな支援策を希望するー宿泊・飲食
- ・プレミアム付商品券等の地元還元する事業を考えて欲しいーサービス
- ・新たな制度ができた時に随時セミナーの開催ーサービス

# 景気動向調査集計結果

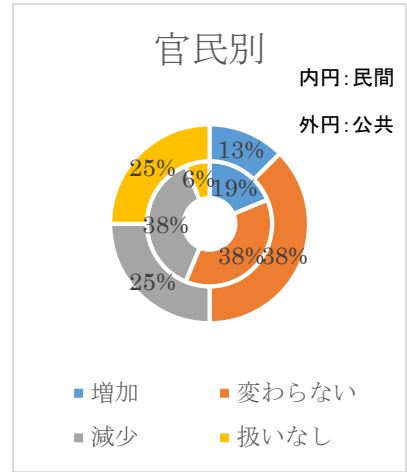
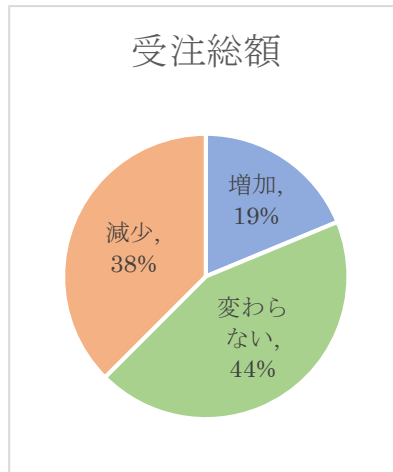
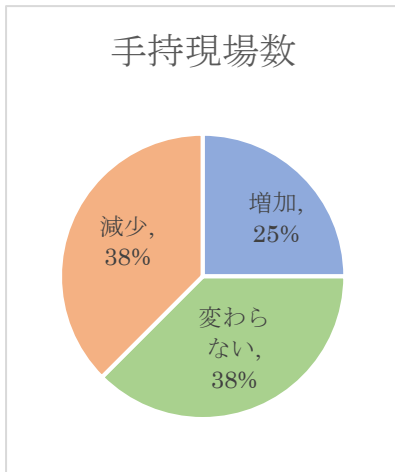
## I 売上・受注高

■ 最近3か月、前年同期に比べて及び今後3か月の予想

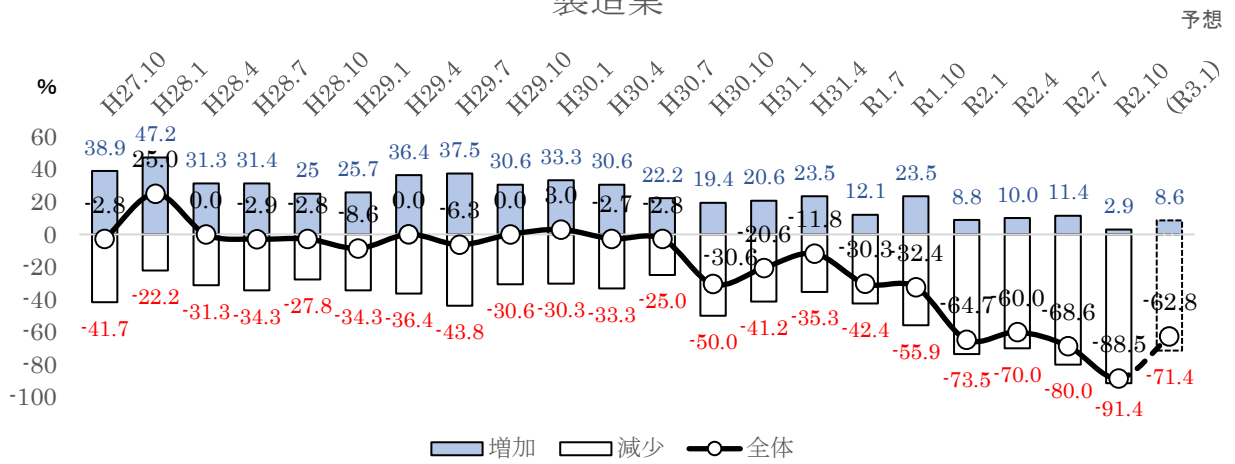




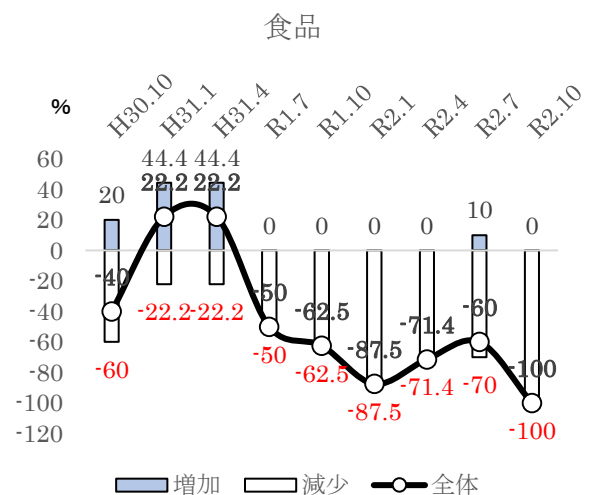
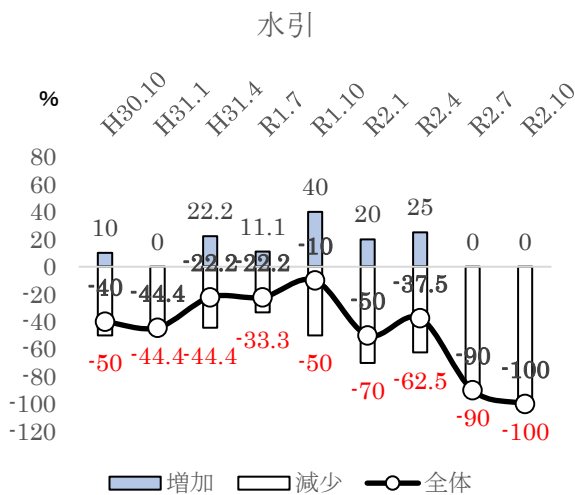
(建設業)



製造業

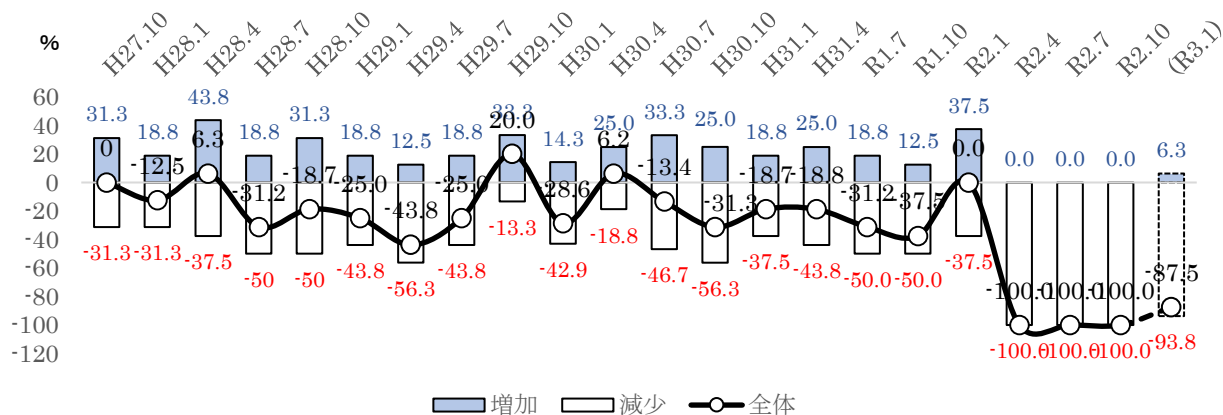


(伝統産業)



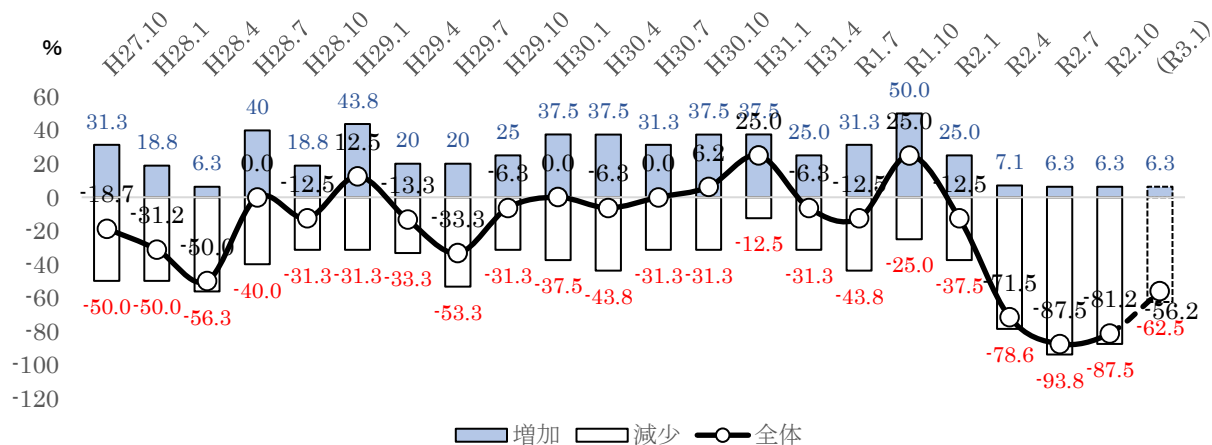
### 宿泊・飲食業

予想

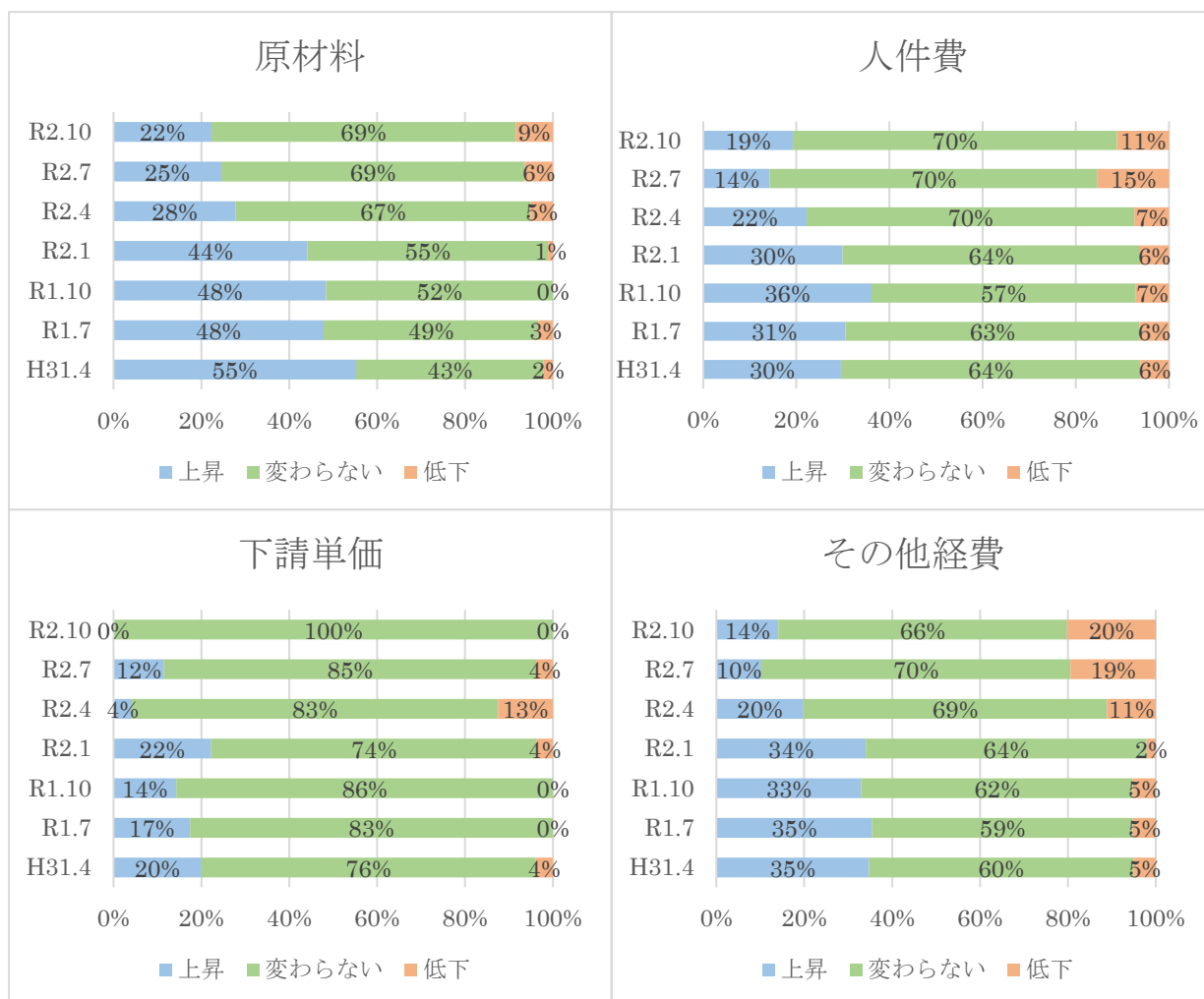


### サービス業

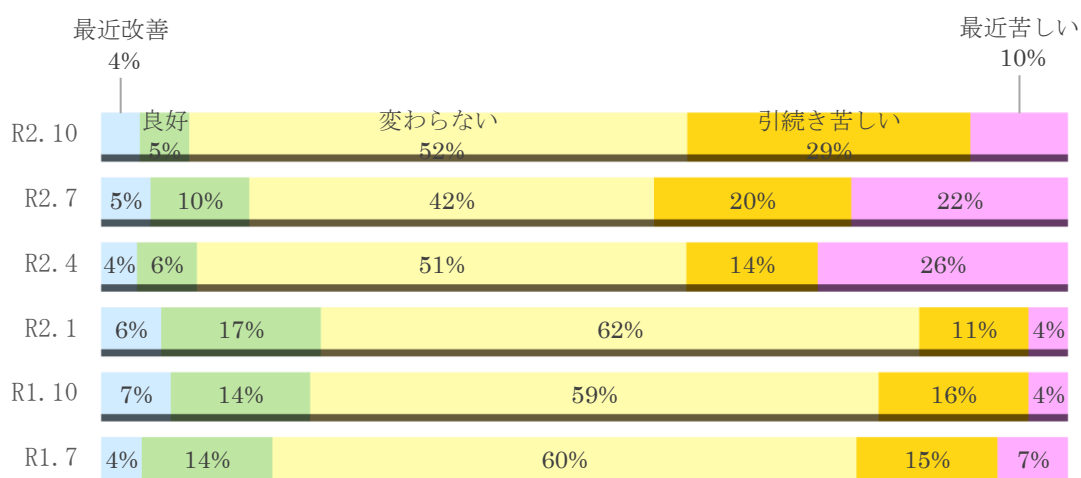
予想



## Ⅱ コストの状況 ー前年同期に比べてー(全業種)

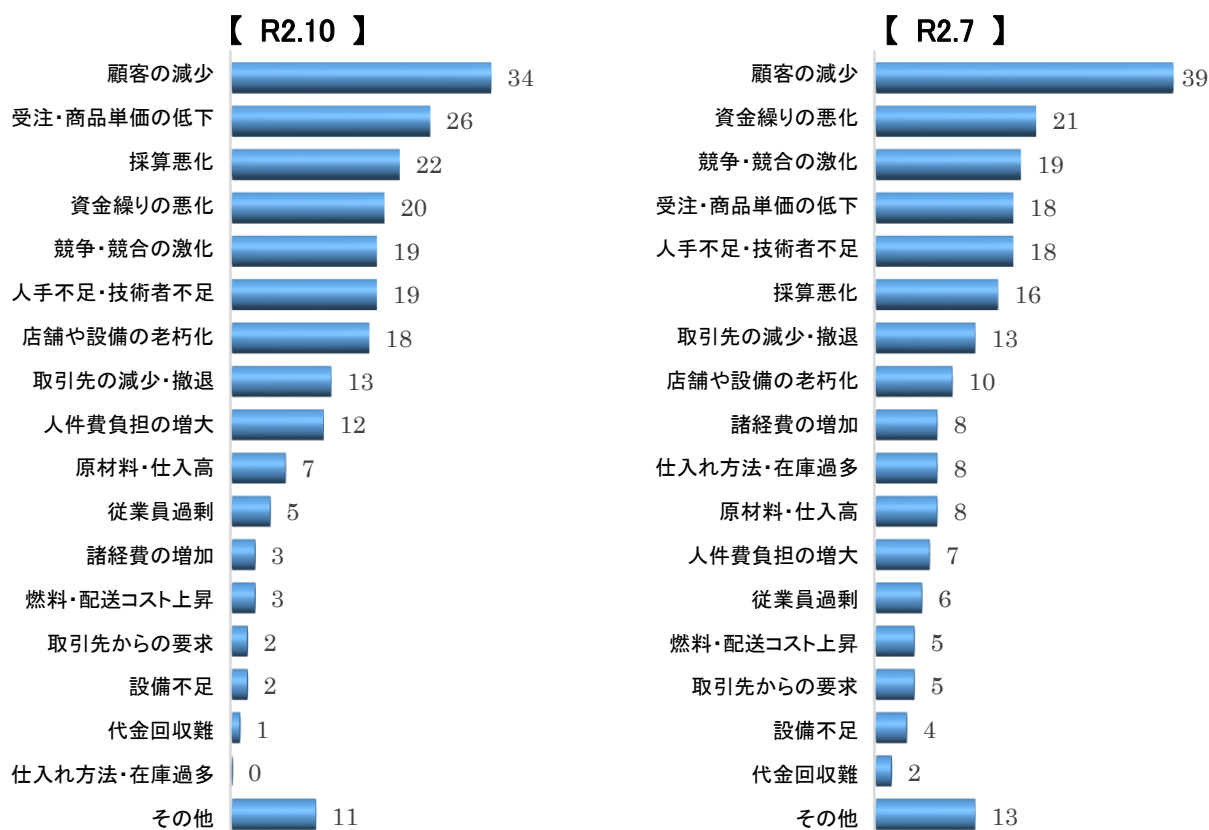


## Ⅲ 資金繰りの状況 ー前年同期と比べてー(全業種)

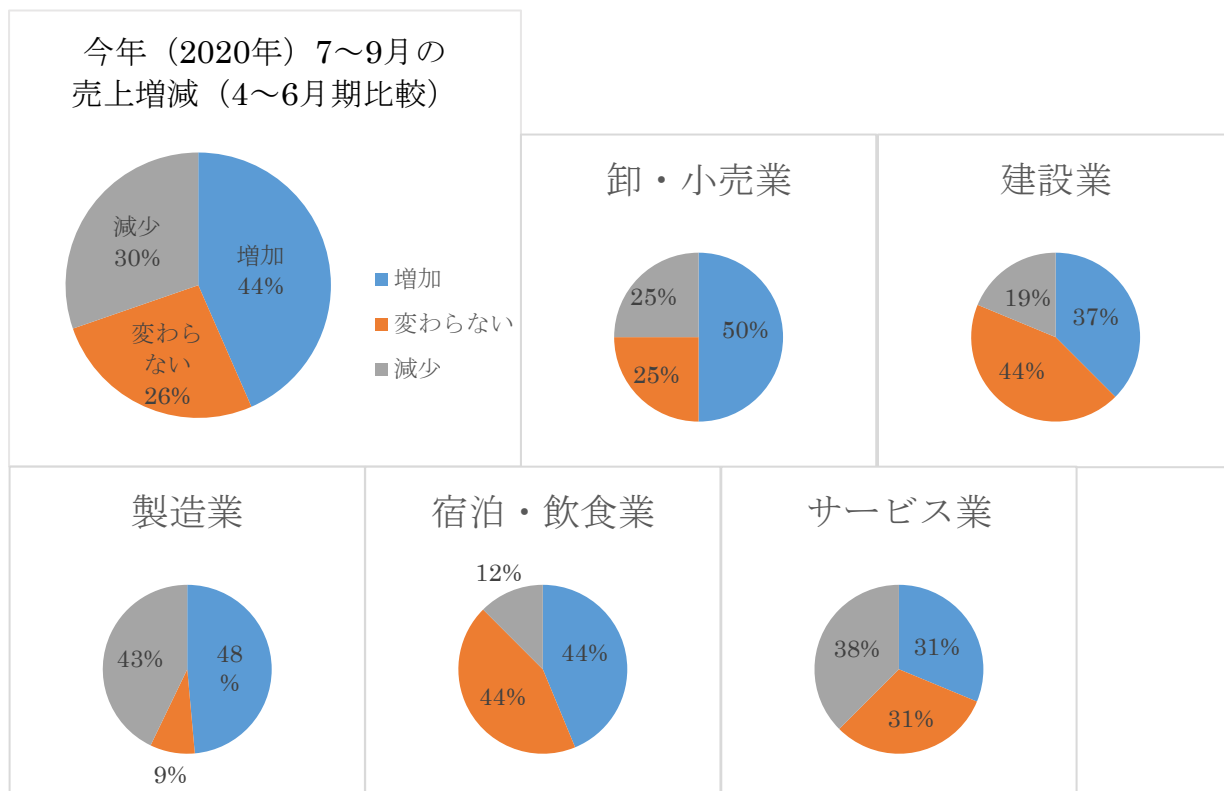


#### IV 経営上の現在の課題(全業種)

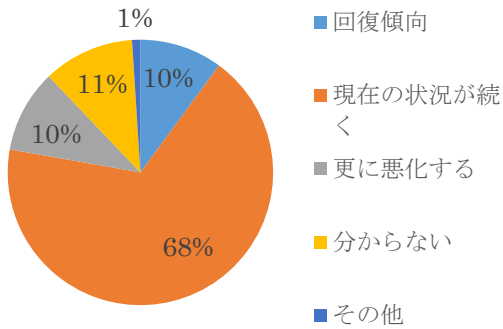
※3つまでの複数回答



#### V 新型コロナウイルス感染症の影響について

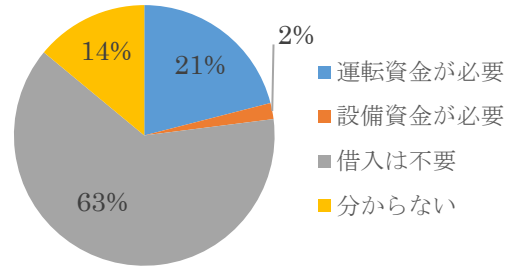


### 貴社の今後の見通しについて



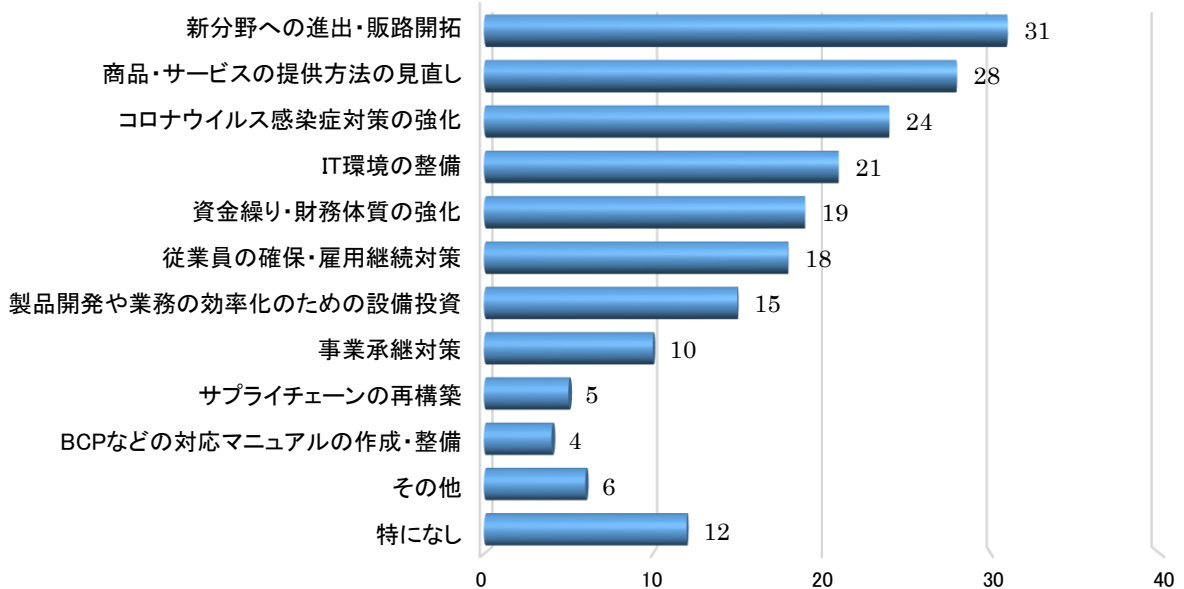
### 秋冬の借入による資金調達について

※複数回答



### ビジネスモデルの展開や事業継続に向けて取り組みたい事項

※複数回答



### 上記の取り組みにあたり相談している先

※複数回答

